

令和 5 年度上半期

会津美里町水道事業 業務状況報告書

令和5年度上半期（令和5年4月1日～令和5年9月30日）の会津美里町水道事業の業務状況は次のとおりです。

1. 経理の状況

(1) 収益的収入及び支出（消費税込み）

当期の営業収益は 182,757,608 円、営業外収益は 26,441,389 円（長期前受金戻入 20,817,000 円を含む）で、合計 209,198,997 円となり、収入の主軸である給水収益は、予算額 407,300,000 円に対し調定額 180,819,408 円で 44.4%の執行率となりました。

当期の営業費用は 169,359,193 円（減価償却費 79,609,500 円を含む）、営業外費用は 5,262,537 円で、合計 174,621,730 円となりました。

(2) 資本的収入及び支出（消費税込み）

当期の資本的収入は 8,000,000 円で、資本的支出は 48,822,417 円となりました。

収入の内訳は、一般会計補助金 8,000,000 円です。

支出の内訳は、建設改良費 13,055,569 円、企業債償還金 35,766,848 円です。

(3) 予算執行状況（消費税込み）

ア 収益的収入及び支出

収入

(単位：円)

科目	予算現額	執行額	差引額
第1款 水道事業収益	475,749,000	209,198,997	266,550,003
第1項 営業収益	413,872,000	182,757,608	231,114,392
第2項 営業外収益	61,876,000	26,441,389	35,434,611
第3項 特別利益	1,000	0	1,000

支出

(単位：円)

科目	予算現額	執行額	差引額
第1款 水道事業費用	447,539,000	174,621,730	272,917,270
第1項 営業費用	419,999,000	169,359,193	250,639,807
第2項 営業外費用	24,280,000	5,262,537	19,017,463
第3項 特別損失	260,000	0	260,000
第4項 予備費	3,000,000	0	3,000,000

イ 資本的收入及び支出

収入

(単位：円)

科目	予算現額	執行額	差引額
第1款 資本的收入	223,137,000	8,000,000	215,137,000
第1項 企業債	108,900,000	0	108,900,000
第2項 出資金	14,884,000	0	14,884,000
第3項 補助金	16,000,000	8,000,000	8,000,000
第4項 工事負担金	9,050,000	0	9,050,000
第5項 補償金	74,303,000	0	74,303,000

支出

(単位：円)

科目	予算現額	執行額	差引額
第1款 資本の支出	339,149,000	48,822,417	290,326,583
第1項 建設改良費	327,231,000	13,055,569	314,175,431
第2項 企業債償還金	71,918,000	35,766,848	36,151,152

2. 令和4年度決算

本町の水道事業は、安全で安心な水を供給するために、施設の維持管理と老朽管更新事業等の建設改良を行い、安定給水の確保に努めました。

老朽管更新事業は、既設石綿セメント管の老朽化、経年劣化による漏水等の事故により水道水の安定供給に支障となるため、管路整備の一環として平成30年度に計画を策定、令和元年度から工事に着手しており、現在は全体更新計画延長約25kmのうち、累計更新延長は約3.39kmであり、進捗率は13.6%となりました。

水道事業の現状は、高度成長期に整備された老朽化した施設の更新や災害に強い施設整備といった、将来に受け継ぐ取組が必要不可欠であり、これらの事業を実施するためには多額の財源を確保する必要があります。

また、将来にわたり安定的な水道供給を継続するためには、他の水道事業体との広域的な連携が必要です。その中で、馬越浄水場を起点とした用水供給・受水事業体による広域連携を進めており、令和5年2月20日に当該4事業体が「水道事業の技術的な連携に関する基本協定」を締結し、社会情勢の変化や自然災害、水道技術職員の技術継承等に対応していくこととしました。

今後も、適切な維持管理及び重要度や優先度に応じた計画的な更新を進め、経営の効率化と給水サービスの向上に努めます。

令和4年度の決算の概要は以下のとおりです。

(1) 給水の状況

令和4年度末における給水戸数は6,289戸であり、前年度と比較し8戸減少し、給水人口は16,549人で、前年度と比較し340人の減少となりました。

年間総配水量は2,075,314 m^3 と、前年度と比較して61,496 m^3 増加し、地域別で比較した場合、高田地域1,124,273 m^3 で39,610 m^3 の増加、本郷地域642,740 m^3 で28,995 m^3 の増加、新鶴地域で308,301 m^3 で7,109 m^3 の減少となりました。

また、有収水量は1,495,769 m^3 で、前年度と比較して35,000 m^3 減少し、地域別で比較した場合、高田地域738,154 m^3 で20,741 m^3 の減少、本郷地域477,256 m^3 で6,957 m^3 の減少、新鶴地域280,359 m^3 で7,302 m^3 の減少となりました。

有収率は72.07%で、前年度と比較し3.94ポイント減少し、地域別で比較した場合、高田地域65.66%で4.31ポイントの減少、本郷地域74.25%で4.64ポイントの減少、新鶴地域90.94%で0.26ポイントの減少となりました。引き続き漏水調査及び老朽管の更新を着実に進め、有収率の向上に取り組む必要があります。

(2) 経営の収支状況

保有する現金預金は、前年度末から22,144,817円増加し、令和4年度決算時において

513,280,087 円となりました。このうち、安全性及び流動性を考慮し、定期預金に 250,000,000 円を預入し、資金の運用に努めました。

水道料金については、感染症対策生活応援事業として 7 月分から 11 月分までの基本料金を半額とする減免を行いました。減免額は 42,347,173 円（延べ 32,687 件）で、減収による損失は一般会計補助金で補填されました。収納状況は、納付管理を徹底し、かつ給水停止処分を実施し、現年分で 83.0%（前年比 0.1 ポイント減）、過年度分は過去最高の 99.5%（前年比 0.3 ポイント増）、全体額では 85.5%（前年比 0.1 ポイント増）の収納率を確保しました。

収益的収支（消費税抜き）は、収入総額が 436,475,230 円となり、前年度と比較して 19,062,988 円（4.2%）減少し、支出総額は 383,155,102 円となり、前年度と比較して 4,357,615 円（1.2%）増加しました。

前年度より収入が減少し、支出が増加した結果、本年度の純利益は前年度と比較して、23,420,603 円減少し、53,320,128 円となりました。

純利益が減少した主な要因は、収入面では、給水人口減少や節水型機器の普及等による水道使用料の減収、また、支出面では原油価格高騰に伴う動力費の増及び給配水管の漏水等による修繕費の増などから、営業費用が増加したことが挙げられます。

令和5年度上半期 会津美里町水道事業損益計算書

(令和5年4月1日から令和5年9月30日まで)

(単位：円)

1 営業収益

(1) 給水収益	164,381,280	
(2) その他の営業収益	1,824,600	166,205,880

2 営業費用

(1) 原水及び浄水費	49,026,533	
(2) 配水及び給水費	22,301,358	
(3) 総係費	10,772,507	
(4) 減価償却費	79,609,500	
(5) 資産減耗費	0	
(6) その他営業費用	7,050	161,716,948

営業利益 4,488,932

3 営業外収益

(1) 受取利息及び配当金	3,968	
(2) 他会計補助金	5,000,000	
(3) 長期前受金戻入	20,817,000	
(4) 雑収益	618,688	
(5) 引当金戻入益	0	26,439,656

4 営業外費用

(1) 支払利息及び 企業債取扱諸費	5,262,537	
(2) 雑支出	0	5,262,537

経常利益 25,666,051

5 特 別 利 益

(1) 固定資産売却益	0	
(2) 過年度損益修正益	0	0
	<hr/>	

6 特 別 損 失

(1) 固定資産売却損	0		
(2) 過年度損益修正損	0		
(3) その他特別損失	0	0	0
	<hr/>	<hr/>	<hr/>

当期純利益	25,666,051
前年度繰越利益剰余金	313,292,776
その他未処分利益剰余金変動額	0
当期未処分利益剰余金	<hr/> <u>338,958,827</u>

令和5年度上半期 会津美里町水道事業貸借対照表

(令和5年9月30日)

(単位：円)

資産の部

1 固定資産

(1) 有形固定資産

イ	土地		35,169,957	
ロ	建物	795,954,596		
	減価償却累計額	△ 368,132,829	427,821,767	
ハ	構築物	6,693,592,619		
	減価償却累計額	△ 3,922,038,932	2,771,553,687	
ニ	機械及び装置	648,410,445		
	減価償却累計額	△ 487,527,580	160,882,865	
ホ	車両運搬具	3,200,313		
	減価償却累計額	△ 1,293,971	1,906,342	
ヘ	工具、器具及び備品	3,906,490		
	減価償却累計額	△ 3,286,165	620,325	
ト	建設仮勘定		38,292,170	
	有形固定資産合計			3,436,247,113

固定資産合計

3,436,247,113

2 流動資産

(1)	現金預金		528,633,916	
(2)	未収金		38,188,437	
	貸倒引当金		△ 207,000	
(3)	貯蔵品		5,300,308	
(4)	前払金		41,918,500	
(5)	その他流動資産		8,107,254	

流動資産合計

621,941,415

資産合計

4,058,188,528

負債の部

3 固定負債

(1) 企業債

イ 建設改良等の財源に
充てるための企業債

605,360,547

ロ その他の企業債

0

企業債合計

605,360,547

固定負債合計

605,360,547

4 流動負債

(1) 企業債

イ 建設改良等の財源に
充てるための企業債

36,150,722

ロ その他の企業債

0

企業債合計

36,150,722

(2) 未払金

0

(3) その他未払金

0

(4) 引当金

イ 賞与引当金

0

ロ 法定福利費引当金

0

引当金合計

0

(5) 預り金

13,479,754

(6) その他流動負債

16,553,461

流動負債合計

66,183,937

5 繰延収益

(1) 長期前受金

2,242,949,322

(2) 収益化累計額

△ 1,321,245,697

繰延収益合計

921,703,625

負債合計

1,593,248,109

資本の部

6 資 本 金		2,123,463,888
7 剰 余 金		
(1) 資 本 剰 余 金		
イ 受 贈 財 産 評 価 額	740,720	
ロ 国 庫 補 助 金	1,776,984	
資 本 剰 余 金 合 計		2,517,704
(2) 利 益 剰 余 金		
イ 減 債 積 立 金	0	
ロ 利 益 積 立 金	0	
ハ 建 設 改 良 積 立 金	0	
二 当 期 未 処 分 利 益 剰 余 金	338,958,827	
利 益 剰 余 金 合 計		338,958,827
剰 余 金 合 計		341,476,531
資 本 合 計		2,464,940,419
負 債 資 本 合 計		4,058,188,528